

令和 6 年 5 月 31 日 発行



社会福祉法人 泰仁会  
特別養護老人ホーム「やさと」

石岡市小倉 4 4 2 - 1  
TEL (0299) 43-0811(代)

特別養護老人ホーム「桜の郷 元気」

東茨城郡茨城町桜の郷231-7  
TEL (029) 292-3900(代)

# さわらび

第 83 号



桜の前にて記念撮影(グループホームさわらび)

## 泰仁会ホームページ

泰仁会

検索



泰仁会ホームページ



やさとブログ



泰仁会は「いばらきダイバーシティスコア」を活用してD&I推進に取り組み、要件を満たす企業等「いばらきダイバーシティスコアチャレンジ企業」として登録しました。

登録の証としてデジタルバッジが付与されました。

# 質の高いサービスを目指して



特別養護老人ホームやさと  
施設長  
高城 裕

暖かく様々な花が咲き誇る中、新年度を迎えました。皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、介護報酬改定については、診療報酬や障害福祉サービス報酬より改定率が高い結果となりました。それだけ介護業界が危機的な状況にあると判断できます。諸問題に対し現場に即した生産性向上や人材確保対策を進め、地域の社会福祉向上のため更なる努力を重ねて参ります。そこで三つのテーマに取り組みしていきます。

一つ目に、科学的型介護の実践です。介護記録やデータを活用し、ご利用者の重度化防止・自立支援を目指します。介護現場では、経験や感覚を頼りに支援が行われがちです。現代の介護は、科学的根拠に基づいたサービスを十分に実践し、より質の高いサービスが求められます。私たち、介護に関わる者も、既存の当たり前前から常識を変える必要があり多くの職員にとって大きな変化となります。

二つ目に、持続可能な組織作りです。人材不足は当り前の時代、少ない人数でよりよいものを生み出し行動していかなければなりません。負担を少なく働きやすさを踏まえ、ノ



令和6年度事業計画研修

ーリフティングケアの推進やICT介護ロボット活用等による業務の効率化や職場環境の改善に取り組みます。そして、サービスの質の向上とご利用者満足を目指していきます。

三つ目に、ブランディングの構築です。社会福祉法人である私達としては、地域福祉の深堀や制度の狭間におかれた人々を支援していきたいと考えます。また、生活困窮者やヤングケアラー問題の対策、新たな複合型サービス等どうすれば要介護が防げるのか、介護の阻害要因を無くしイメージアップに取り組みしていきます。

この挑戦は難しく、時間もかかります。しかし、その重要性は計り知れません。ご利用者の生活の質を高め、職員の働きがいや職場環境の改善にも役立つと考えます。将来を見越したサービス提供、人材育成に取り組むためにも常に法人理念である「あつてよかつた」にてよかつた」を念頭に置いた行動してまいります。

# ありがとうございました

事業所内託児所として平成十五年に開設した「こぎつねの郷」は五月三十一日を持ちまして閉所となり、最後にお別れ会を行いました。

これまで託児所の運営に際し、ご理解とご協力を頂きまして誠にありがとうございました。

お別れ会の様子とこれまでの思い出を写真と共に振り返っていきます。





おめでとう!

やさとからはこの度二名の介護職員が介護福祉士に合格しました。これからの活躍にも期待いたします!



特別養護老人ホームやさと  
鈴木 駿



特別養護老人ホームやさと  
三輪 春菜

春を満喫!



皆様、お散歩や外出を行い、他にも畑でとれた野菜を使ってお料理を行ったたり、それぞれの春を楽しまれました。



お知らせ

現時点での特養やさとの面会につきましては、面会を希望される前日の9時から17時まで、お電話にてご予約をお願いします。

基本的な面会人数は、一度に2人まで、面会時間は14時から15時30分まで、30分単位の枠となります。

ご利用者の体調、施設の感染症流行状況により突然の変更があることをご理解お願いします。

他事業所につきましては個別にご確認をお願いします。

### やさとパンフレットリニューアル!

ふってよかった いでよかった

やさと

やさとパンフレットをリニューアルしました! 泰仁会ホームページよりPDF形式にてダウンロードが可能です。



# 成人



理事 常務理事 桜の郷元氣施設長  
永山 直人

令和6年度を迎えるの「新年度訓示」は、今年4月1日が月曜日でしたので、暦上では良いスタートが切れたと思っています。常務理事に就任してからは、新年・新年度のスタートには、理事長と共に法人所在地石岡市の「やささと拠点」その後には茨城町の「桜の郷元氣拠点」と、午前中全ての時間をかけて、新年度への想いを語り、伝えていきます。「訓示」と表現すると固いイメージがありますが、泰仁会は30年の歴史の中で、理事長を筆頭に、各施設長がこの時間を大切に職員と共に過ごしてきました。毎年・毎年度と、一度も途絶えることなく、法人の成長と共に回数を重ねてきました。これからも時代が変わっても続けていきたい

と思っています。私自身は、やささと拠点から、桜の郷元氣拠点へ移動する約30kmの道のりで「車中」、理事長と他愛のない話をする時間がとても心地よく、職員一人ひとりと、こんな時間を持つことが、とても大切であるという事を実感します。「酒席」は昔から大好きでしたが、ここ数年コロナ禍であった事や昨今の時代の流れで「死語」に近いと思われる「飲みニケーション」の場も無くなりつつあり、施設長としても職員一人ひとりに語りかける、「ちよつとした瞬間」を新しい年度の中でも、大切にしていきたいと思っています。桜の郷元氣は開設20周年を迎える年度です。人の成長といえば「成人」ですね。そして今後は、社会貢献活動を念頭に、運営を進めたいとも考えています。施設を育ててくれた「地域社会」への恩返しも視野に入れて、令和6年度の重点目標の一つとして、令和に入ってから継続して取り組んできた、「介護サービス検証委員会」を更に進化させていく事を掲げました。現在は、茨城町長寿福祉課より1名・地域の第三者委員(兼入居判定委員)から1名、私たち施設側からは、多職種出席に

より運営しておりますが、更にさまざまな関係者よりも、検証の場に加わっていただきたく、新年度からは社会福祉協議会や、地域の職能団体にも参加を呼び掛けていくつもりです。この介護サービス検証委員会の目的は、長くなりますが、「施設入居者及び利用者を含む、地域の高齢者の方々が、いつまでも住みなれた自宅や、地域で自律された暮らしを続けるために、私たちの提供する介護サービスを検証し、その質を高めること」にあります。この「理念」をブラさずに委員会運営をしており、創設からの数年間で、大きな成果も出しています。委員会は「要介護認定更新調査結果」を中心に、「科学的介護推進体制加算」(LIFEと呼ばれるシステム)・施設独自で作成した「ADL(日常生活動作)比較表」から検証を行っており、令和5年度においては、桜の郷元氣拠点の介護サービスを利用する方々で、110名が要介護認定の更新調査を受けており、その結果6割以上の方々が「要介護状態が良くなった」・「変わらなかった」という結果になっています。

一般的に高齢者は、加齢による体力低下や持病の悪化、あるいは認知症の出現等により、「悪化・よくても現状維持」と思われがちですが、我々の事業所を利用して、「自律度が高まり、自分でできることが多くなった」という結果は、我々介護従事者としてはとても嬉しいことなのです。このことは、利用者の方々の経済的負担の軽減にもつながります。今回も施設へ入居されている方が、「要介護5」から「要介護3」になりました。新介護報酬では我々、ユニット型特養の「要介護5」の利用料金(1割負担)が基本利用料で、月額28,650円から「要介護3」の月額24,450円になりますので、1か月では基本利用料(介護費のみ)だけで4,200円の削減で、認定の有効期間は最近では3年間の方もおりますので、151,200円も減額になり、経済的な負担も軽減します。最近では各市町村も頭を悩ます「介護給付費増大」についても、この利用者を例にとれば、大雑把になりますが、残りの9割負担をする保険者(市町村)だけではありませんが)も、3年間では、1,360,800円の削減になります。そういう意味でも本年度、最も力を入れていきたいところなのです。

## チームケアから学び得たこと

桜の郷元気 萌木ユニット 田中 栄江

桜の郷元気に入職して4年が経ちました。介護の経験は6年目になり、昨年ユニットリーダーに就任して、まだ経験や知識も勉強しながらではありますが、入居者様とのコミュニケーションはとても楽しく、入居者様やご家族からの感謝の言葉を励みにケアを行っています。

東日本大震災後に入職し、その後はコロナ感染症の影響を受け、施設での元気まつりやボランティア活動などのイベントの自粛もあり、入居者様や職員にとっても忍耐を要する年でした。その中でも萌木ユニットでは、ユニットの行事として、おかし作りやお花見ドライブなどを行っていきます。限られた中ではありましたが、入居者様の思い出作りができたと思っています。

コロナ感染症も第5類に移行して、少しずつ面会制限など緩和されていき、ご家族には面会時やお電話、手紙の送付などで普段の様子をお伝え出来ていましたが、お顔を合わせて話したことがないご家族もい

らっしゃいましたので、この機会に萌木ユニット内で家族会を開催できなにかと考え、他部署にも協力頂き、二月に家族会を開催致しました。沢山のご家族に参加頂き、本当にご家族の皆様を支えられていると実感した瞬間でした。

家族会では年に二回ある支援会議へのご家族の参加の声かけやご家族の要望などを聞くことができました。「職員さんの負担になっていないか？」と声をかけて頂き職員一同、本当にご家族の存在が励みとなっており感謝しかありません。



家族会だけではなく生活支援会議にもご家族に参加いただき、左の写真はその際の一枚です。会議内では入居者様の生活状況を知ることと、入居者様やご家族のニーズから支援方法の統一を行い、入居者様の安心した生活の継続に繋がられるよう真剣に話し合いを行っています。令和6年度もご家族の協力を頂きながら萌木ユニットの発展に繋げて、入居者様のためにできることを日々考え、積極的に取り組んで行きたいと思っています。

家族会後には短時間ですが、萌木ユニットリビングと入居者様の居室内環境、生活の様子を見学頂けた事で、必要な物を相談したり、ご家族が自身の部屋に来てくれたことに喜ぶ入居者様の笑顔を見て、私たちも嬉しく思います。

私自身、初めての家族会開催を通して、施設職員だけでなく、様々な方の協力を支えられていることへの感謝と入居者様の安心した生活の継続の大切さを実感しました。今後も入居者様に合わせたケアを行ってまいります。また、専門職としてもさらにやりがいを感じ、成長できる機会となりました。



## ★新たなスタート

総務課 鈴木 めぐみ

4月から総務課に入職しました。事務職は初めてなので、一から教えていただきチャレンジの毎日です。前職は介護老人福祉施設が運営する医療法人クリニックの歯科衛生士をしており、先月末まで訪問歯科診療と口腔ケアを要支援の方から経管栄養、胃ろうの方まで行っていました。

訪問歯科診療の施設に行くといつも笑顔で温かく迎えてくださる介護支援専門員さんと事務員さんがおり、ご家族様からの信頼も厚く入居様からも慕われていました。いつか仕事を変えらるチャンスがきたら、自分も皆様に温かく迎えられような仕事があったいと漠然と思っていました。そんな時、歯科医師の体調不良により突然クリニックの閉院が決まり、就職活動をしなければならぬ状況になりました。クリニックでは高齢者に携わっていた事、医療事務で介護請求業務もしていた事、歯科衛生士の経験からお役に立てたらと福

祉施設の事務員を希望しました。年齢も厳しいのは承知の上でしたが、面接時に採用のお話をいただきとても有難く思いました。実際に仕事を始めてみると、電話・来客の対応、労務管理、金銭管理、備品の確認・発注・購入、介護報酬請求業務等多岐にわたっており、自分にできるかどうか少し不安はありますが前向きにチャレンジしていきたいと思っています。そしてご利用者様やご家族様に信頼いただけるよう丁寧な対応を心がけ、将来的には介護事務に関する資格も取っていきたくと考えています。



## ★お花見

ひたちの長岡デイサービス

介護主任 富永 聡子

ひたちの長岡では、4月のよく晴れた日に花見ドライブに行きました。

50号沿いの桜並木や県庁周り、水戸市の見川にある野球場の駐車場などを巡ってきました。

ひたちの長岡は開設して間もなくコロナ禍に入り、なかなか外出する機会を作る事が出来ずになりました。久しぶりの外出ということもあり、ご利用者様はわくわくしたご様子で車に乗り込みました。桜のトンネルや間近で満開の桜を見ることが出来、車内は「今日が一番見ごろだね。最高だ！」と大変盛り上がり、満開で駐車場も混雑していた中で、偶然にスペースが空いたため、写真を撮らせて頂きました。

帰りの車内でも「良い思い出ができた。ありがとう。」と、大変喜んで頂き、我々もうれしい気持ちでいっぱいでした。



ひたちの長岡では、季節に際して掲示物の展示やレクリエーション等を行っております。これからご利用者様が楽しめる企画を提案していく為、楽しみにしていただければと思います。

## ～事故対策委員会より～

- ・ご利用者が安全に過ごせるよう、発生した事故やヒヤリハットの分析を行い、最善の予防策がとれるよう危機意識をもって取り組んでまいります。

### 【桜の郷 元気】

月	12月	1月	2月	3月	合計
ヒヤリ・ハット	258件	237件	157件	149件	801件
事故	4件	10件	10件	8件	32件

桜の郷元気の数字内にひたちの長岡の件数も含まれています。

### 【やさと】

月	12月	1月	2月	3月	合計
ヒヤリ・ハット	222件	254件	215件	237件	928件
事故	18件	15件	15件	14件	62件

やさとの数字内にデイサービスやさと、ケアハウス、GHさわらび、国府あおいの件数も含まれています。

## ～身体拘束適正化・高齢者虐待防止委員会より～

- ・1名の方が入居後より緊急やむを得ず身体拘束の対象となっておりましたが、医療機関との多職種連携により支援方法の見直しを行い、拘束解除となりました。（やさと）

月	12月	1月	2月	3月	合計
桜の郷元気	0件	0件	0件	0件	0件
やさと	1件	1件	0件	0件	2件

## ～苦情処理委員会より～

### 【ご意見・苦情内容】

- ・職員の車の暖機に関する内容で、近隣の方々への迷惑とならないよう指導を行いました。

月	12月	1月	2月	3月	合計
桜の郷元気	0件	0件	0件	0件	0件
やさと	0件	0件	1件	0件	1件

## 編集後記

★今年3月に行われた、第96回選抜高校野球大会（春の甲子園）にて、我が母校が、初のベスト4になりました。春夏合わせて3度目の甲子園で、初めて母校の校歌がテレビから流れました。卒業後40年。一度も会えていない同級生や仲間も多く、みんなどこかで聞いているんだろうな。と当時を思い出しながら、感涙しました。★驚くことに、私は校歌をよく覚えており、詰まることなくほぼ全部を口ずさむことができました。みんな今、何をしているのかな。幸せに暮らしているのかな。一日でもいいから、あの頃に帰ってみたい：等々、いろいろなことが頭をよぎりました。★泰仁会も創立30年。たくさん仲間たちとの出会い・別れもありました。ある意味、法人理念・経営理念は、「校歌」なんだろうな。と先ほどの全体会議後に、職員と理念を唱和しながら、考えておりました。我々の法人を「卒業」していった人たちも、「志」は一緒でした。また一緒に働けたら最高ですね。きつと「泰仁会理念」は、心のどこかに仕舞ってあるはずですから。

（永山直人）